

令和2年7月11日から令和2年10月20日までの出来事を掲載しました。



上は昔の旧弘前偕行社の写真です。（市広聴広報課提供）

下の3点は保存修理を終え、今年4月にリニューアルオープンした現在の重要文化財旧弘前偕行社の写真です。

## 議 会 ト ピ ッ ク ス

### りんご産業振興特別委員会が 所期の目的を達成し、解散へ

令和2年第3回定例会最終日、りんご産業振興特別委員会の委員長報告がありました。

その内容は、これまで優先的に取り組んできたりんご黒星病対策について、新規薬剤が早期に登録され、来春から使用できる見通しがついたことでりんご生産者の強い思いに応えることができたこと、その他の付託事件については、現在、市において既に各種施策に鋭意取り組んでおり、現時点では、今後の市の取組を注視すべきと考えていることから、所期の目的が達成されたため、本委員会は解散すべきであるとの結論に達したとのことでした。

これを受け、採決の結果、解散が決定しました。



報告をする田中元委員長

### 新型コロナウイルス感染症対策に 関する要望書を県知事へ提出



小田桐慶二副議長(右側奥)と櫻田宏市長(右側手前)

弘前保健所管内で初となる新型コロナウイルス感染症の感染者が確認され、その後も感染者数が急増する中で市は、様々な対策を講じておりました。しかしながら、教育・医療の現場等をはじめ、地域社会経済へ与える影響が全く見通せない状況にあることから、感染拡大防止と市民の不安解消を図るため、10月20日(火)、下記の事項について市長と議長の連名で、県に対し要望いたしました。

- ①市内飲食業者への休業協力金への支援
- ②県立・私立学校への感染防止対策徹底の通知
- ③自主隔離者の受入施設
- ④医療アドバイザーの市への派遣
- ⑤保健所機能強化
- ⑥PCR検査機能体制強化
- ⑦軽症者等の受入施設

## 令和2年第2回臨時会

### 市長提出議案 3件

【会期：令和2年7月31日(金)】

#### ●令和2年度弘前市一般会計補正予算（第8号）

新型コロナウイルス感染症の影響への対応として、新生児応援給付金、弘前城秋の大祭典開催経費、貸切バスによる旅行商品の造成に係る補助金、小・中学校の保健衛生用品等の購入に要する経費などを計上するものです。

補正額 3億3321万6千円

#### 7月補正後の令和2年度予算

一般会計 972億2221万5千円  
 (7月補正額 3億3321万6千円)  
 特別会計 403億3958万2千円  
 (7月補正額 228万8千円)

補正内容	事業費*	補正内容	事業費*
民生委員等活動支援費	4,330	おなかの赤ちゃん応援事業	2,716
地域福祉活動支援物資配付事業	268	ひろさき農泊推進支援事業	15,000
介護保険特別会計繰出金追加	2,288	弘前城秋の大祭典開催事業	90,000
老人福祉センター等衛生管理体制確保事業	593	四大まつり開催事業追加	6,000
弥生荘・弥生学園衛生管理体制確保事業	1,403	貸切バス旅行商品造成支援事業費補助金	46,800
弥生荘整備工事追加	17,248	宿泊施設受入体制整備費補助金追加	5,000
妊産婦オンライン個別相談事業	570	学校保健特別対策事業	31,390
ひろさき新生児応援給付金	103,110	学校給食臨時休業対策補償金追加	6,500

※事業費の単位は千円

## 令和2年第3回定例会

### 市長提出議案 22件

【会期：令和2年8月28日(金)～9月25日(金)】

#### ●令和2年度弘前市一般会計補正予算（第9号）

新型コロナウイルス感染症への対応として、保育所等の感染症対策に要する経費などを新たに計上するほか、事業活動持続チャレンジ応援補助金や弘前城雪燈籠まつり事業拡充に係る経費などを追加するものです。また、ふるさと納税寄附金推進事業の追加などに伴う補正を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止等に伴う減額や、国の地方創生臨時交付金などの振替に伴う財源調整を行うものです。そのほか、石川小・中学校整備事業に係る繰越明許費の設定、独立行政法人国立病院機構に採用される弘前市立病院職員の給与の負担に係る債務負担行為の補正、道路橋りょう整備事業などに係る地方債の補正をするものです。

補正額 9億6661万5千円

#### 9月補正後の令和2年度予算

一般会計 987億2214万3千円  
 (9月補正額 14億9992万8千円)  
 特別会計 411億2902万8千円  
 (9月補正額 7億8944万6千円)

補正内容	事業費*
食で応援！学生支援事業	4,201
コミュニティ施設冷房設備設置工事	42,320
保育所等緊急包括支援事業費補助金	34,500
児童厚生施設等緊急包括支援事業	20,000
事業活動持続チャレンジ応援補助金追加	90,500
四大まつり開催事業（弘前城雪燈籠まつり）追加	20,000
ひろさき観光需要喚起事業追加	17,400
除排雪業務リモートオフィス設置経費	3,913
成人式事業追加	2,083
地区公民館冷房設備設置工事	50,300

【新型コロナウイルス感染症への対応に係る補正のみ表記】

#### ●令和2年度弘前市一般会計補正予算（第10号）

新型コロナウイルス感染症への対応として、老人福祉センター及び小・中学校職員室等への冷房設備設置に係る経費、インフルエンザ予防接種助成事業の対象者及び助成内容を拡充するための経費などを計上するものです。

補正額 5億3331万3千円

補正内容	事業費*
契約管理・電子入札システム構築事業	15,677
体表面温度計測機器導入経費追加	8,525
老人福祉センター冷房設備設置工事	20,500
インフルエンザ予防接種費用助成特別拡大事業	26,330
小児インフルエンザ予防接種費用助成事業追加	29,700
高齢者インフルエンザ予防接種事業追加	90,069
避難所感染症等対策経費追加	47,520
小学校冷房設備設置工事	188,865
中学校冷房設備設置工事	106,127

※いずれの表も事業費の単位は千円

### 議員発議 1件

#### 意見書

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

### 陳情 2件

※陳情書は議員に参考配付しました。

- 後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の陳情書
- 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書採択の陳情



## 令和元年度決算審査

令和2年第3回定例会中に行われた予算決算常任委員会では、令和元年度弘前市一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計の各決算等について審議しました。

### 一般会計 決算額

歳入額 790億1985万3175円  
 歳出額 784億2296万3768円  
 繰越額 5億9688万9407円

### 一般会計歳入歳出決算に対する討論

賛成・反対それぞれの立場の要旨を掲載します。

#### ○賛成の要旨 以下の理由で賛成する。

- ・実質公債費比率と将来負担比率は、早期健全化基準を大きく下回っている
- ・地方消費税交付金の大幅減にもかかわらず、影響を最小限に抑え、適切に予算執行されたと判断できる

#### ○反対の要旨 以下の理由で反対する。

- ・税金の使い道が開発型である
- ・自治体業務に対する民間委託の導入
- ・市民の暮らし応援、医療・福祉・教育優先の本来の使い道のあり方から見れば、まだ不十分である

### 国民健康保険特別会計歳入歳出決算に対する討論

賛成・反対それぞれの立場の要旨を掲載します。

#### ○賛成の要旨 以下の理由で賛成する。

- ・保険料率の見直し、収納率向上対策等の取組
- ・累積赤字の解消、財政調整基金の残高は約12億円超となる見込みで安定的な財政運営がなされている

#### ○反対の要旨 以下の理由で反対する。

- ・高すぎる保険料の実態が続いている
- ・生活困窮者へ積極的に減免制度を行ったり、福祉政策につながる方向へ行政を転換すべき

## 一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。( )は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



坂本 崇  
(無所属)

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 商店街等の歩道活用について問う。

**答** 今年6月に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食店等を支援するための緊急措置として、テイクアウト販売やテラスでの飲食提供を行うため、当該店舗に接続する歩道等を活用する場合の、道路占用の許可に係る基準や占用料等について、国土交通省から弾力的な取り扱いが示された。

このことを受けて、弘前市中心市街地活性化協議会の事業として、同協議会の事務局を担う弘前商工会議所を中心に協議を行い、新型コロナウイルス感染症対策の現状と公共的空間の利活用という両面から、今回の緊急措置を活用できるよう、道路管理者や交通管理者等の関係機関と調整を進めているところである。

〈その他の質問項目〉

○弘南鉄道の整備技術の活用について



松橋 武史  
(滄洸会)

### 石川小・中学校等整備事業について

**問** 整備に当たって目指す学校像は。

**答** 市は、小・中学校の校舎を一体として建て替え、武道場を含めた中学校体育館を新築するほか、出張所や公民館、児童館を学校敷地内に移転することとする基本構想を策定。今後は、これに基づき設計業務を発注予定であり、石川地区の特色を反映した、地域のコミュニティの核となる学校施設の整備を進める。

### 町会所有の消防屯所整備について

**問** 建物の老朽化への市の対応、及び市への所管換えについて。

**答** 市としては、消防団活動は市民生活に必要なものであり、屯所や消防設備が有事の際に機能するよう、整備に万全を期する必要があると考えている。町会や関係者の意見を聞きながら、町会所有の屯所を市所有へ所管換えすることも含めてしっかりと検討を進めていく。

## 令和2年第3回定例会日程 (29日間)

8月28日(金)	本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	9月15日(火)～9月16日(水)	常任委員会	予算決算
8月29日(土)～9月7日(月)		議案熟考	9月17日(木)	常任委員会	予算決算
9月8日(火)	本会議	一般質問		特別委員会	りんご産業振興
	常任委員会	経済文教	9月18日(金)	常任委員会	予算決算
9月9日(水)	本会議	一般質問	9月19日(土)～9月24日(木)		議事整理
9月10日(木)	本会議	一般質問	9月25日(金)	本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
	特別委員会	りんご産業振興			
9月11日(金)	本会議	一般質問、議案付託			
9月14日(月)	常任委員会	厚生、建設、総務			





木村 隆洋  
(創和会)

**新型コロナウイルス感染症対策について**

**問** 経済対策について。  
**答** 地域経済の維持・回復を目的とした事業者支援及び生活支援の経済対策は、37事業、195億9277万2千円の予算。給付金事業や補助金の交付事業といった経済対策の中には、申請期限を迎えた事業も一部あるが、申請期限の延長も含め、多くの事業は申請を受け付けているので、引き続き必要とする方々に必要な

情報が漏れなく届くよう周知を強化する。これまでの申請状況をもとに、ニーズが高い事業については予算を追加し、ニーズが低かった事業を含めた検証もを行い、地域経済を回復させるため、国や県の財源だけでなく、市の財政調整基金等も活用して、感染症対策を実施していく。  
 〈その他の質問項目〉  
 ○新型コロナウイルス感染症対策について（医療体制、イベント、防災体制）



蒔苗 博英  
(創和会)

**休職者等農業マッチング緊急支援の活用状況について**

**問** 事業終了後の休職者の対応について。  
**答** 市では、新型コロナウイルス感染症の影響で休業した市民や学生等を雇用した農業者に、賃金の一部を補助している。事業による雇用期間を終えても、就職や復職は厳しい状況にあるため、11月30日までとしている補助対象期間を来年3月末まで延長し、補助事業者を選果や貯蔵

等の業務を行う移出業者等を加える。  
**黒星病新規農薬登録について**  
**問** 今後の対応について問う。  
**答** 新規薬剤の令和3年産病害虫防除暦への掲載に向けた検討が県で進んでいるが、新たな薬剤耐性菌を出現させないためには新規薬剤の適正使用が重要である。共同防除組合や町会等が主体となった、放任樹の伐採なども引き続き支援し、りんご黒星病のまん延防止に努める。



宮本 隆志  
(弘新会)

**市民プールの現状と今後について**

**問** 老朽化の現状及び今後の方向性はどのようになっているのか問う。  
**答** 現在使用できるのは6か所のうち5か所である。築53年の第二市民プールを始め、いずれも老朽化が進んでいるが定期的に自主点検を行い、計画的に修繕を行いながら維持保全を図っている。今後の方向性は水泳という競技スポーツの枠を超えて健康増進にも必要な施設と位置

付け、プールのあり方を検討していく。  
**新規雪置場の整備について**  
**問** これまでの経緯と今後の動向を問う。  
**答** 当市の雪置場は4か所あるが岩木川右岸側に偏っており、交通渋滞など市民生活に重大な影響を及ぼしてきた。このため配置バランスの改善と効率性を考慮して河西地区を第一候補と決め、県に対する当市の最重点要望事項として早期整備に向けた支援を強く働きかけていく。



石田 久  
(日本共産党)

**新型コロナウイルス感染症による国民健康保険への影響について**

**問** 減免への対応等について問う。  
**答** 今年2月1日以降に納期限が設定されている国民健康保険料を減免するもので、対象は、コロナ感染症の影響により、主たる生計維持者の事業収入等が3割以上減少する世帯で、前年所得額の階層区分に応じて10割、8割、6割、4割、2割の割合でそれぞれ減免となるものであ

る。減免の対象要件・基準については算定方法等が複雑な部分があることから、申請期間が来年3月31日となっているが、納期限経過分についても、やむを得ない事情があると認められる場合は、減免対象となる。その場合、納付済みであれば還付する取り扱いとなるものである。  
 〈その他の質問項目〉  
 ○身体障害者福祉センター等について  
 ○市立病院と新中核病院について



千葉 浩規  
(日本共産党)

**新型コロナウイルス感染拡大抑止について**

**問** 新型コロナウイルス感染拡大の現状、PCR検査等の検査拡大の必要性についての認識を答えよ。  
**答** 首都圏や都市部での発生状況を見ると、いつ弘前保健所管内で発生してもおかしくない状況であると危機感を持っている。PCR検査などの検査体制が拡充されることで、新型コロナウイルス感染

症のまん延防止が図られ、住民の皆様も心強く、安心につながっていくものと思っている。十分な医療提供体制の維持については、全国市長会において、病院間の支援ネットワークや医療人材確保について、国・県が連携した広域的な支援体制を構築するよう国へ要望している。  
 〈その他の質問項目〉  
 ○家賃支援給付金について  
 ○固定資産税等の軽減措置について  
 ○OGIGAスクール構想について





佐藤 哲  
( 滄 洸 会 )

### ごみ減量化に向けた取組について

**問** 取組の成果は。

**答** 市では、弘前市一般廃棄物処理基本計画を策定し、ごみの減量化・資源化を図るため、市全体が一丸となってごみの減量に取り組む展開をしてきた。不適切なごみの搬入規制により、事業所からの不燃ごみが8割以上減少し、ごみの適正排出が着実に進められた。家庭系ごみは、令和2年度の間目標達成まであと20グ

ラムとなり確実に成果が表れている。

### 新型コロナウイルス対策について

**問** 8月以後に行われる経済対策は。

**答** 事業活動継続チャレンジ応援補助金は、多くの事業者から高い評価を得て、予算の上限に達したため、再度、補正予算案を提出した。プレミアム付商品券や販促イベント事業については、多くの市民に利用され、効果が十分に事業者へ及ぶよう、市も積極的にPRしていく。



越 明 男  
( 日 本 共 産 党 )

### 「持続可能な開発目標」(SDGs)について

**問** 当面の対応の基本的な考えを伺う。

**答** SDGsの理念も視野に入れて様々な課題解決に取り組み、激しい社会状況の変化に柔軟かつ積極的に対応していく。

### Uマート弘大前店の閉鎖による市民への影響について

**問** お年寄り、車のない方々は遠くへの買物を余儀なくされているが見解を伺う。

**答** 建物の所有者から伺ったところ、複数の事業者から問合せはあるが今後の活用の方向性は決定していないとのこと。

### 保存樹林の指定解除について

**問** 富士見町33番地の保存樹林の指定解除の理由について伺う。

**答** 所有者が土地売却に強い意向であることと樹林の現状から、指定解除もやむを得ないと判断。7月2日開催の弘前市みどりの審議会で委員の同意が得られた。



外 崎 勝 康  
( 木 場 公 明 )

### 市立病院及び旧第一大成小学校跡地の活用について

**問** 検討状況及び市立病院の耐震状況は。

**答** 市は、今年度末までに市立病院の活用策を中心とした基本構想の素案を取りまとめることを目標としている。重要課題である健康・医療・福祉の充実に資する機能を中心に、多くの市民が集い、にぎわいが生まれる魅力的な空間にしたい。市立病院は、構造耐震指標が全ての場

所で0.3以上0.6未満であり、完全に耐震基準を満たすまでには至っていない。

### 市道富田樹木線の安全対策について

**問** 市の今後の対策について。

**答** 交通量の増加を見込み、街路事業の早期着手を国、県に要望していく。道路融雪整備区間も早期事業完了を目指して予算確保に努めるとともに、路肩のカラー舗装や電柱の移設による有効幅員の拡幅などを進め、歩行者の安全確保を図る。



野 村 太 郎  
( 創 和 会 )

### 弘南鉄道の経営について

**問** コロナ禍の状況を踏まえた経営状況について伺う。

**答** 弘南鉄道は、経費削減など経営改善に努めていた中で、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント列車の中止など営業活動が制限され、さらに厳しい経営状況となっているが、学生団体や地域住民、沿線市町村などとの協力を得ながら、利用促進に取り組んでいるとこ

ろである。

さらに、社内で受け継がれてきた修繕技術を社外からの受注業務として活かすほか、長年使用している車両を観光資源として活用するなど、コロナ禍で懸命に経営改善に取り組んでいる同社の姿勢を踏まえ、路線が活性化し、地域住民の足として運行を維持していけるよう、沿線市町村と支援の在り方について、検討を進めていく。



今 泉 昌 一  
( さ くら 未 来 )

### 弘前市の文化行政について

**問** 文化芸術振興計画の目的は。

**答** 文化芸術活動の振興は、市民にゆとりと潤いをもたらし、心豊かな暮らしや魅力あるまちを築いていくうえで必要不可欠なものである。人々の創造性を育み、表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会が形成されるよう、

文化芸術の振興に努める。

文化芸術振興計画策定事業の目的については、市の文化芸術分野が抱える課題を明らかにするとともに、課題解決を図るための施策や事業を体系化し、総合的かつ計画的に進めることにより、効果的かつ継続的に文化芸術振興を図り、市民の主体的な文化芸術活動を支え、地域共生社会の実現に向けたまちづくりを推進することとしている。

一般質問の写真は、過去に撮影した写真を使用しています。

令和2年第3回定例会も、新型コロナウイルス感染症対策として1人の質問時間を60分から50分に短縮しました。



福士 文敏  
(創和会)

**弘前城本丸石垣整備事業について**

**問** 工事の実績と進捗状況は。  
**答** 平成27年度に、天守を本丸中央寄りに仮移設する曳屋を公開型工事で実施し、翌平成28年度から3か年で石垣の解体工事を行った。その後、天守台周辺の地質調査において、天守台部分の石垣と天守基礎について耐震補強の検討を要する結果となり、工程も含めた計画の見直しが必要となった。

**弘南鉄道大鰐線中央弘前駅前の整備について**

**問** 駅前広場の今後の整備方針は。  
**答** 境橋の架け替え工事が本格的に始まり、来年度中には山道町から新しい道路と繋がって、見通しのよい緩やかな坂道になる予定。駅前広場の整備については、大鰐線の利便性向上、利用促進に繋がる駐輪場や駅利用者送迎車両の待機場所を設置するなど、現在検討している。



齋藤 豪  
(滄洸会)

**庁内におけるテレワークについて**

**問** テレワークやオンライン会議の取組、教職員への導入について伺う。  
**答** 全庁的なテレワークの導入は様々な課題があるが、国や他自治体の動向も参考にし、検討を進める。本庁舎及び岩木庁舎にそれぞれ1か所テレビ会議ができる環境を整備しており、これまでに191件の利用で県外及び県内の民間企業や大学との会議等が多い。災害の観点からも、

ICT等のオンライン技術を活用した会議等を行うことは迅速な防災対応が可能なほか、感染症対策としても非常に有効だと考え、庁内のシステムの整備状況等を踏まえて活用していく。教職員については会議や研修の効率化を図りつつ、教育活動全般でICTの活用を進めていく。  
 〈その他の質問項目〉○観光行政(コロナ禍) ○市内における経済の状況(コロナ禍) ○農業行政(マッチングの状況)



蛸名 正樹  
(創和会)

**災害予防計画及び減災対策について**

**問** 防災マップの活用策について。  
**答** 今後の具体的な防災マップの活用策としては、「出前講座」の制度を活用して、危険区域が多い地区などを中心に、防災マップの内容の説明や活用について働きかけをしていく。また、小中学生を対象にした「防災教育」においても、防災マップを活用したワークショップを計画するなど、子供たちや地域の防災リー

ダーの方々が、素早く安全に自主的な避難行動をとれるようサポートしていく。  
**公契約条例について**  
**問** 公契約条例に対する認識について。  
**答** 市では、これまで国の法的な整備や他自治体の動向を注視してきた。公共調達において、引き続き市内事業者への発注を原則とするほか、関係事業者からの意見を聴きながら、地域経済をより循環させるための手法を研究していく。



石岡 千鶴子  
(無所属)

**観光行政について**

**問** 岩木山環境保全協議会の必要性について。  
**答** 本協議会の位置付けは、法的根拠に基づく附属機関にあたらなと考えている。市職員に登山道に関する専門的な知識や経験を持つ人材が不足していることから、本協議会において会員の意見等を伺いながら、市の責任において登山道の整備等を行っていく。

**問** 岩木山の山頂に、岩木山神社所有の奥宮(おくみや)があり、登山者の休憩所として利用されている。また、有事の際は避難小屋としての機能を有することから、維持管理など市として支援すべきと思うがどうか。  
**答** どのような支援が可能か、方法を含め検討していく。  
 〈その他の質問項目〉  
 ○新型コロナウイルス感染症について

**議案等に対する各議員の賛否状況**

議案は、○は賛成、●は反対、-は採決に加わらなかったもの。議長(清野一榮)は採決に加わっていません。

議案等名	採決結果	竹内博之	成田大介	坂本崇	齋藤豪	福士文敏	蛸名正樹	石山敬	木村隆洋	千葉浩規	野村太郎	外崎勝康	尾崎寿一	蒔苗博英
令和元年度弘前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
令和元年度弘前市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
令和元年度弘前市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(藤崎町)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(板柳町)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○





竹内 博之  
(さくら未来)

**テレワーク等推進による職員の働き方について**

**問** 現在の市の考えを問う。  
**答** 新型コロナウイルス感染症の感染拡大をきっかけに、在宅勤務制度やテレワークの有効性を改めて認識した。柔軟な働き方であるテレワークの拡充など、制度のあり方について検討を進め、職員の働き方改革を推進していきたい。  
**新型コロナウイルス感染症対策について**

**問** 生活インフラに直結する業務についての対応策は。  
**答** 市民のいのちと暮らしを守るためにも、道路の除排雪作業及び水道水の安定供給や汚水処理のような、機能停止が許されない業務については、起こりうるリスクを想定し、それらの影響を最小限に抑えるよう、しっかりと取り組んでいく。  
 〈その他の質問項目〉  
 ○秋の大祭典開催の経緯、目的



石山 敬  
(創和会)

**農業行政について**

**問** 農地流動化の課題について伺う。  
**答** 農地の現況や立地条件が利用調整の難航に大きく影響していると考えている。規模縮小を考える農家には農地が耕作された状況で流動化を検討してもらうよう、農業ひろさき等で周知していく。また、営農意向調査の調査未回答者にも意向確認を進めつつ、人・農地プランの実質化に取り組み、早期の利用調整に努める。

**教育行政について**

**問** コミュニティ・スクールの実施状況について伺う。  
**答** 平成30年度から各学校や地域の状況に応じて順次導入を開始しており、初年度は市立小中学校合わせて28校が導入、昨年度は16校、今年度はさらに1校が加わり、合計50校中45校がコミュニティ・スクールとなった。また、今年度は35校で地域コーディネーターを配置している。



成田 大介  
(無所属)

**性的マイノリティについて**

**問** 今後の取組について。  
**答** 性的マイノリティの方を対象とした「弘前市パートナーシップ宣誓制度」を本年12月に導入する。この制度は、性的マイノリティの方々がお互いを人生のパートナーとして相互に協力していくことを約束して宣誓し、その宣誓を市が証明するものであり、法律上の婚姻とは異なるが、婚姻に相当する関係として市が

認めるものである。現在、導入は、全国では57の自治体で、東北地方では当市が初めてとなる。導入により、性的マイノリティの方々にとって、弘前市が暮らしやすいまちであると感じていただき、多様性への正しい知識と理解がより一層広がるよう、今後も取組を推進していく。  
 〈その他の質問項目〉  
 ○教育行政（コロナ禍における児童生徒の生活状況、GIGAスクール構想）



工藤 光志  
(木揚公明)

**弘前市における合計特殊出生率について**

**問** 現状と課題について伺う。  
**答** 厚生労働省が今年7月末に取りまとめた人口動態統計特殊報告で、当市の平成25年から29年の合計特殊出生率は1.32と県内で大鰐町、平川市と並び最も低い。当市は高等教育機関が集積し、算出対象となる年齢の学生が非常に多いことが背景の一つだと捉えている。当市に限らず出生数が減少傾向だが、出会いの機会の

減少や仕事と子育ての両立の難しさ等、個人が望む結婚や出産、子育ての実現を阻む要因が複雑に絡み合っており、今後、生産年齢人口の減少と高齢化を通じて社会経済への大きな影響が懸念され、その抑制が課題となっている。子育て世代への切れ目のない支援の提供や安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備、弘前で結婚し、子供を産み育てたいと思える環境づくりを総合的に推進していく。

※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

松橋 武史	今泉 昌一	小田桐慶二	鶴ヶ谷慶市	石岡千鶴子	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	宮本 隆志	下山 文雄
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○

**令和2年第2回臨時会審議結果**

※議会での慎重審議により、可決となりました。

市長提出議案：3件

予算関係：2件、条例関係：1件

**令和2年第3回定例会審議結果**

※議会での慎重審議により、可決、認定となりました。

市長提出議案：22件

予算関係：6件、決算関係：7件  
 条例関係：4件、その他：5件

議員発議：1件

## 委員会等活動報告

### 議会運営委員会

- 7月16日(木) 市役所  
①議会基本条例の検証について
- 9月11日(金) 市役所  
①議会基本条例の検証について

### 経済文教常任委員会

- 7月17日(金) 市内りんご園地、市役所  
①今年産のりんご作柄状況について

### りんご産業振興特別委員会

- 9月10日(木) 市役所  
①りんご黒星病新規防除薬剤の登録に係る礼状の送付について  
②今後の活動について  
③その他
- 9月17日(木) 市役所  
①りんご黒星病新規防除薬剤の登録に係る礼状の送付について  
②委員長報告について

### ひろさき市議会だより編集特別委員会

- 7月28日(火) 市役所  
①掲載内容について

- 9月25日(金) 市役所  
①掲載内容について  
②編集日程について  
③その他

### 議員全員協議会

- 8月28日(金) 市役所  
①令和3年度青森県に対する重点要望事項について

### 令和2年度弘前市防災訓練実施

9月30日(水)、弘前消防署西分署を会場に防災訓練があり、議会から15名が参加しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で訓練が分かれて実施されており、この日は実動及び避難所訓練が行われました。



### 議会の傍聴 自粛のお願い

傍聴にお越しの皆様のご健康を守るため、また、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、当面の間、本会議及び委員会等の傍聴については、できる限りお控えくださるようお願いいたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。本会議および予算決算常任委員会は、インターネット中継でご覧になれます。また、市役所前川新館1階市民ギャラリーにモニターテレビを設置し、中継放送しております。

#### 次回定例会日程(予定)

- (11月20日(金) 議会運営委員会 会期日程等の協議)  
11月27日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明  
12月22日(火) 閉会日(本会議) 各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会

※日程、傍聴の取扱いについては、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

### 定例会一般質問等のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。

※緊急時、災害時には変更される場合も有り

### 表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。  
※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
- ◎締め切り 締め切りは令和3年1月8日(金)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。

【詳しくはホームページ、または議会事務局へ】

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますのでTEL・ファクス・メールなどでお気軽にご連絡ください。

### 弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。

